

シーティングって何？

シーティングってなに？

シーティングとは、身体の不自由な人が使う車いすを、もっと快適にしてあげることです。

今までの車椅子と何がちがうの？

日本での車いすは『移動のための道具』、欧米ではずっと前から『生活の場』です。シーティングが必要な人がシーティングを施していない車いすに乗ると普通の生活が送れなくなります。

快適な車いすにするのは大事なこと？



もちろん。身体の不自由な人は多くの時間を車いすの上ですごします。身体に合っていない車いすに長く座っていると疲れたり痛くなったりしてしまいます。

シーティングってどうすればいいの？

Point 1. いま使っている車いすで考えてみましょう。

いま使っている車いすはどんないす？



どこが悪いのか、何が使いづらそうなのか、車いすと使用者をよく見てみましょう。



自分でこく事ができない…
ずり落ちてしまう…
背中が痛い…
横に傾いてしまう…
安定して座れない…

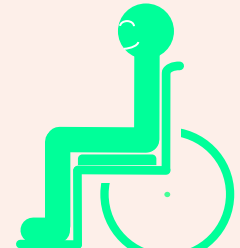
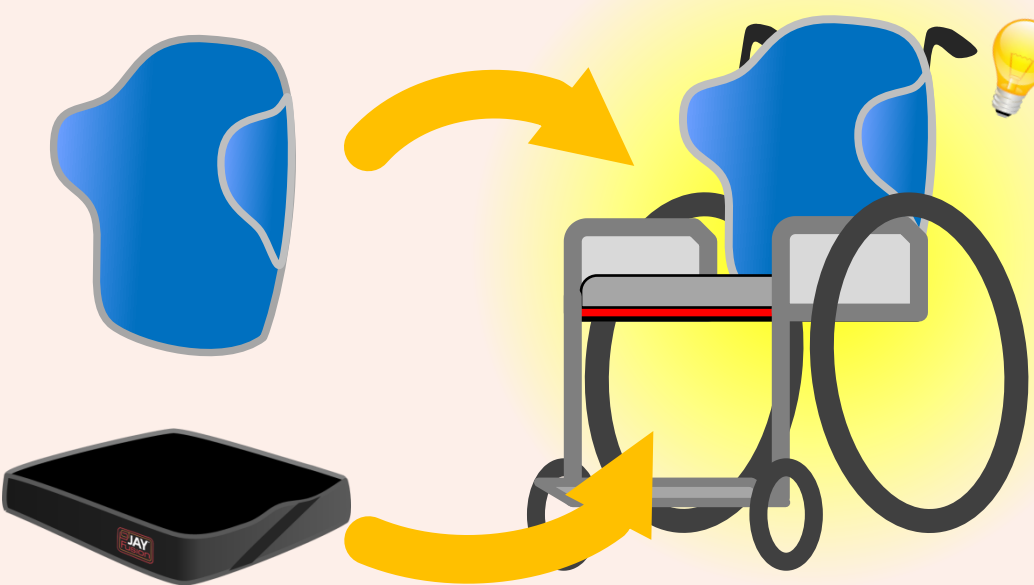
横から見ると
背中がまるまって
呼吸も苦しそう…

前から見ると
横に傾いてて
身体が痛そう…




Point 2. このような問題は、ひとつひとつ解決できます。

ポイントは、大きさ（寸法）が合っている車いす、正しいクッション、姿勢に適した背もたれ。



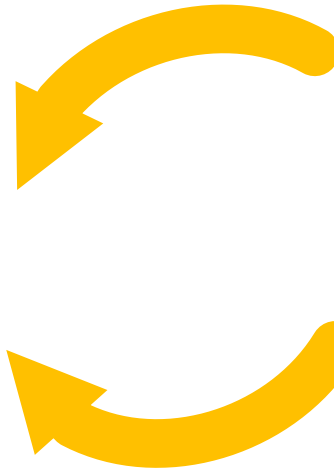
横から見ても背中が
伸びてて呼吸も楽そう



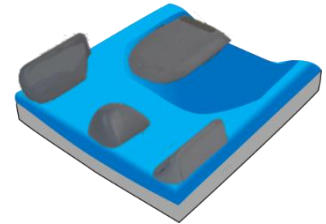
前から見ても傾きもなく
安定している

正しいクッションの効果

- ★ ずり落ちない
- ★ 骨盤を支えて傾き防止
- ★ おしりが痛くない！
(とこずれ予防)



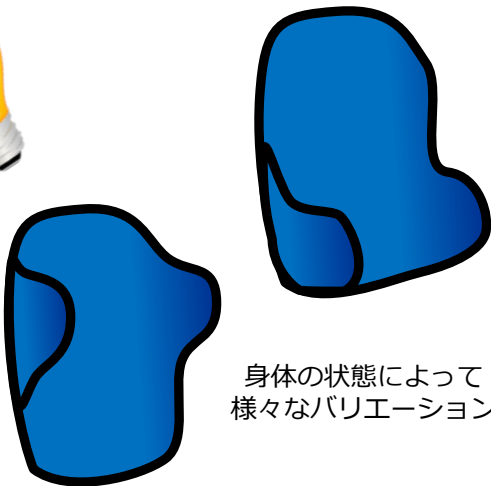
★反発力が発生しないクッション
除圧素材の流動体。骨ばった部位を
包み込み圧を分散し、快適に長い時
間座れる素材にします。



★縁の下の力持ち。ずり落ち防止+
片側への傾きを防げる優秀なクッション
おしりを置くくぼみで前滑りを防止。
別パーツを使い、個々の状態に合わせた
座面を調整することで、身体が左右に
傾きにくなり安定した姿勢になります。

正しい背もたれの効果

- ★ 上体を支えて傾き防止
- ★ 曲がった背中にも対応
- ★ 背中を優しく包む



身体の状態によって
様々なバリエーション

長く座っても
ずっと快適です



身体の不自由な方を寝たきりにさせない、車いす+シーティングを！

JAYクッションを正しく効果的に使用するために

①クッションのコントゥア形状と臀部の位置を正しく合わせましょう 位置によって快適性、安定性、除圧効果が大きく異なります。



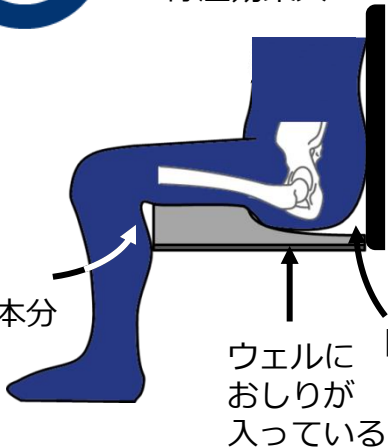
- 安定して
- 快適
- 除圧効果大



- 不安定
- 不快
- 不適切な除圧



ひざ裏
約指2本分
の隙間
が適切



ウェルに
おしりが
入っている

隙間がない

隙間が
大きすぎる



ベースの
浅い部分に
座っている

隙間がある



ウェル部分

※コントゥア形状とは、クッションの前方が高く、
後方が低くなった形状のことです。

※実際にはこのベース上にJAYフロー流動体パッドが乗ります。

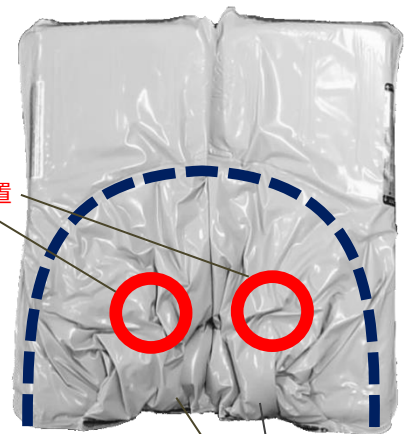
※座骨位置と底付きのチェック

- ◆カバーを外してクッションに座る。
- ◆2～3分座って、動いたり漕いだりする。
- ◆クッションから降りる。(なるべく座面を動かさないように)
- ◆クッションについて以下の確認をする。

②座骨位置のチェック

- ◆クッションから降りた後にクッションを確認する。
- ◆座骨が適切な位置にあるかチェックする。
- ◆流動体パッドの坐骨が位置していた(通常一番へこんでいる)場所が座骨位置。
- ◆除圧と姿勢保持に最適な位置は流動体部分(柔らかい部分)の中央。(右図参照)
- ◆前過ぎると除圧効果が弱くなり、後ろ過ぎると姿勢保持が弱くなります。

適切な
坐骨位置



流動体
(除圧素材)

③底付きのチェック

※底付きしていないことを確認してから使用してください。

- ◆クッションから降りた後にクッションを確認する。
- ◆流動体パッドの坐骨が位置していた(通常一番へこんでいる)場所に最低でも1.5cmの流動体があることを確認する。
- ◆1.5cm以上あれば安全に使用できる。
- ◆1.5cm以下だと底付きの危険性があるので、増量などの対応をする。



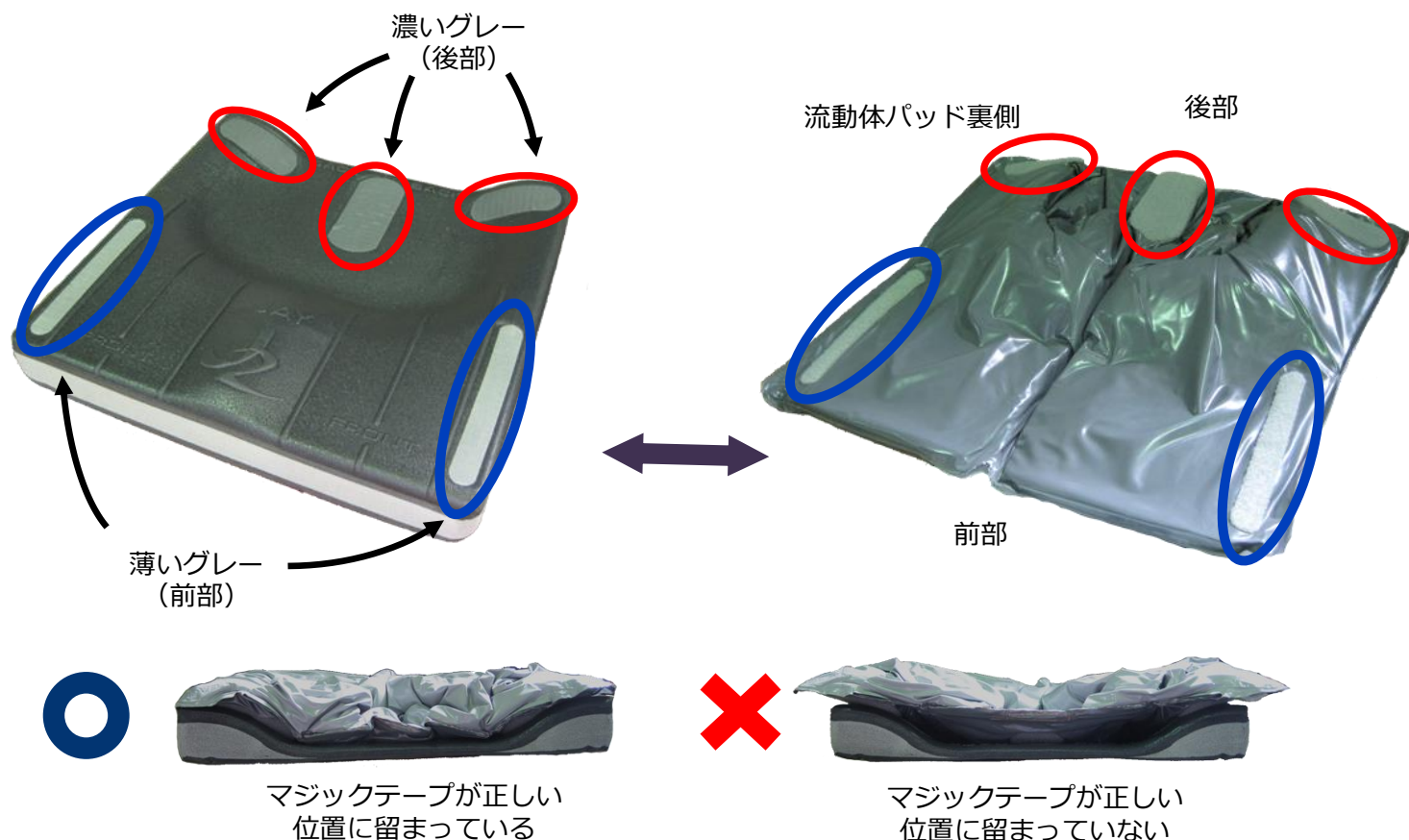
一番低い部分をチェックします

JAYクッションを正しく効果的に使用するために

④クッション使用前の準備

※座骨の下に除圧素材を適切に位置するために。

- ◆ベース側と流動体パッド側それぞれに5カ所のマジックテープがあります。
- ◆5箇所すべてをしっかりと留めてください。
- ◆前部2カ所のマジックテープは薄いグレー、後部3カ所のマジックテープは濃いグレーになっています。
- ◆後部中央のマジックテープをしっかりと合わせて留めることも忘れないでください。



⑤カバーの適切な装着

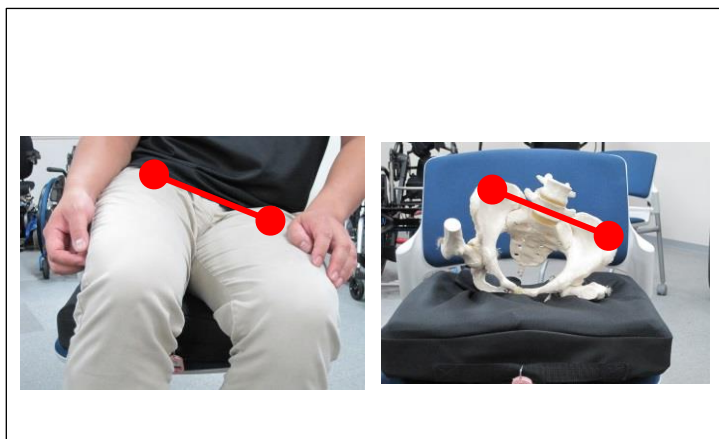
※前後を間違えないように注意してください。

- ◆カバーには前と後ろがあります。クッションの向きに合わせてカバーを取り付けてください。
- ◆必ず純正カバーをご使用ください。伸縮性のないカバーは褥瘡予防効果を低下させます。



シーティングによる骨盤の傾き改善の手順

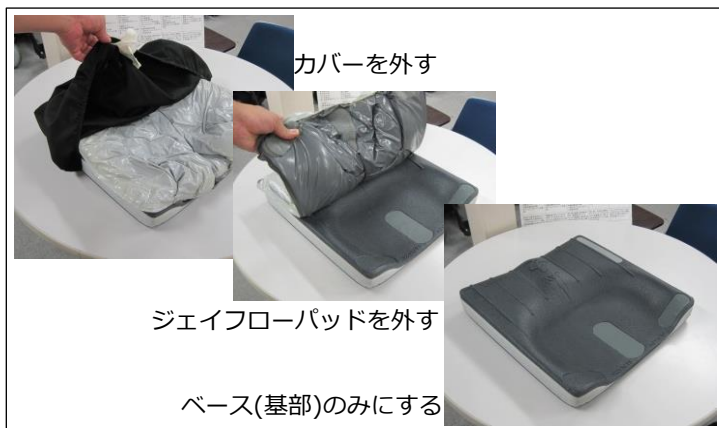
片側に傾いた骨盤によって姿勢が崩れ、側弯や座骨部の褥瘡等 二次障害の原因となります。骨盤の傾きに可動性が残されていれば、シーティングによって傾きを戻すことが可能です。以下の手順で骨盤の傾きを改善しましょう。



① マットテーブル等平らで沈み込みのない場所に使用者が座る。正面から左右の上前腸骨棘(“腰骨”)の高さの「差」を確認する。

※ 指で上前腸骨棘を指すとわかりやすい。

ムムッ!
右が2cm程高い



② J 2クッションのカバーとジェイフローパッドを外し、ベース(基部)のみの状態にする。

骨盤の傾きを改善するために
低い側の坐骨の下に底上げを施す。

※ 可動性があれば骨盤は戻るが
可動性がない場合は戻らない。



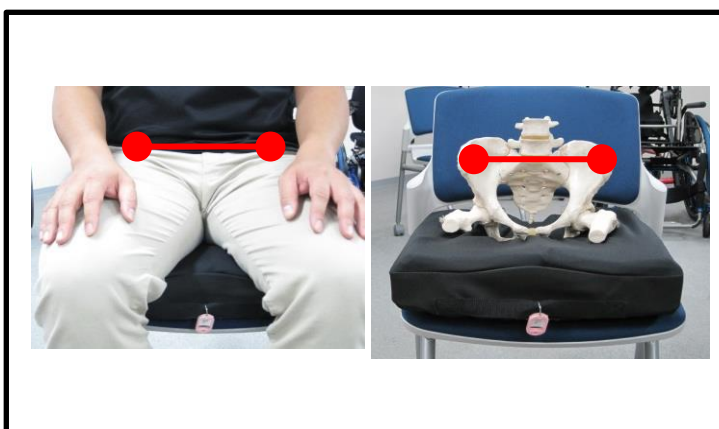
③ ビルドアップ(底上げパッド)を選ぶ。①で確認した左右差を目安にビルドアップの厚さを選択し、低い側の坐骨の下に追加する。



1"(2.5cm)骨盤矯正用
ビルドアップ(左・右)



1/2"(1.25cm)骨盤矯正用
ビルドアップ(左・右)

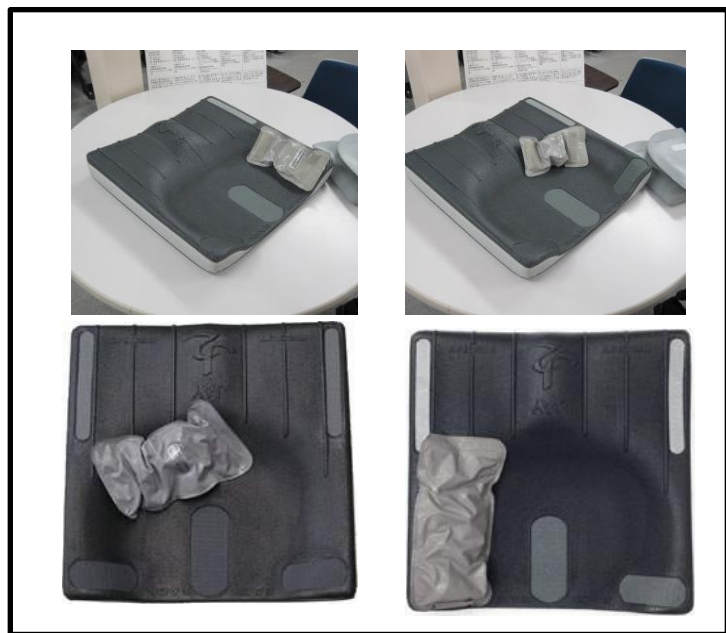


④ ジェイフローパッドを元の位置に戻し、再度座ってもらう。上前腸骨棘が同じ高さに戻っていれば傾きの改善が完了。戻りが不十分であれば再調整する。最後にカバーを付けて完成。

【重要】 ジェイフローパッドを元の位置に戻す際、5ヶ所あるマジックテープを必ず合わせてください。合わせることで除圧素材が確実に座骨の下に位置して不要な底付きを防止します。

褥瘡を考慮する場合、左右差が大きい場合の対応

褥瘡を考慮する場合は、除圧素材を使用して傾きを改善します。



骨盤が傾いている場合低い側の座骨に褥瘡の危険性が高まります。褥瘡予防を考慮する場合はビルドアップの代わりに除圧素材の流動体増量パッドを使用します。

※除圧素材で骨盤の傾きを改善することで低い側の座骨に強い圧がかかりません。

1つ入れると片側を20%増量(約2cm)します。

2つまで増量することができます。

※大切なポイント

- ・増量パッドは座骨の前や横など座骨に当たらない位置に設置します。
- ・増量パッドは動きを持たせるように弛めて設置しマジックテープで固定します。
- ・折り曲げたり広げて設置すると異物感と下方からの圧が増加して除圧効果が低下。底付きの原因にもなります。

骨盤の傾きの(左右差)が大きく、さらなる矯正が必要な場合は、ビルドアップと流動体増量パッドを組み合わせて使用します。



½"(1.25cm)骨盤矯正用
ビルドアップ



1"(2.5cm)骨盤矯正用
ビルドアップ



流動体増量パッド



流動体増量パッド
(小)

使用例



+2.0cm



+3.25cm



+5.25cm



折り曲げての
使用は×

※片側への流動体の増量が常に必要な場合、クッション注文時にお申し付けいただければ、製造時にジェイフローパッドの片側を無料にて増量することができます。(例)右側20%増量

世界標準の流動体クッション

なぜ流動体？

流動体とは、水、空気、そして新流動体と呼ばれる反発力がなく流動性のある物質の事。国際標準としてすべてのクッションは、流動体（Fluid）と個体（Solid）に分類され、流動体を使用したクッションの高い除圧機能から、褥瘡の高リスク者には流動体を使用したクッションが提供されます。



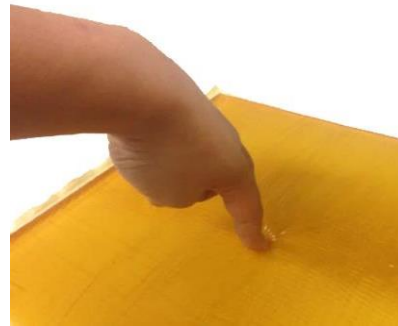
包み込み
無反発
保護
ずれを軽減

流動体とゲルとの違い



流動体(Fluid)

- ・反発力が生じない(静水圧)
- ・骨張った部位を包み込む
- ・圧の分散に優れている
- ・骨張った部位の先端に圧が集中しない
- ・『動き』や『流れ』がある



個体(Solid)

- ・反発力が生じる
- ・『動き』に対して抵抗する
- ・最も深く圧縮された箇所に最大の圧がかかる
- ・『動き』や『流れ』がない
- ・ずれへの対応ができない

JAY®の流動体クッションシリーズ



J2クッション

- ・姿勢保持（高）
- ・除圧（高）
- ・沈み込み4cm
- ・ずれ軽減（高）
- ・硬い姿勢保持用フォームベース+流動体パッド
- ・流動体量指定可能
- ・豊富なポジショニングパーツ

J2ディープクッション

- ・姿勢保持（高）
- ・除圧（最高）
- ・沈み込み8cm
- ・ずれ軽減（高）
- ・硬い姿勢保持用フォームベース+流動体パッド
- ・流動体量指定可能
- ・豊富なポジショニングパーツ

フュージョンクッション

- ・姿勢保持（高）
- ・除圧（最高）
- ・沈み込み7cm
- ・ずれ軽減（高）
- ・硬い姿勢保持用フォームベースを低反発フォームでカバー+流動体パッド
- ・流動体量指定可能
- ・一部のポジショニングパーツを使用可能

X2クッション

- ・姿勢保持（中）
- ・除圧（中）
- ・沈み込み3cm
- ・ずれ軽減（中）
- ・柔らかいフォームベース+流動体パッド
- ・流動体量指定可能
- ・外転防止パッドの使用が可能

イージークッション

- ・姿勢保持（中）
- ・除圧（中）
- ・ずれ軽減（低）
- ・快適なフォームベース+流動体パッド(左右)
- ・流動体パッドの代わりに低反発フォームを使用した姉妹品あり

世界中で長年使用されている褥瘡予防&姿勢保持クッションのスタンダード。拘縮対応など個人に合わせた改造も可能。

褥瘡を繰り返している方や超高リスクの方向けのJ2クッションの強化モデル。拘縮対応など個人に合わせた改造も可能。

高い除圧機能と姿勢保持に加え、新開発のフォームベースで快適性・安定性・安全性を大幅にアップした最新のJAYクッション。

薄く、軽く、を目的に開発されたクッション。アクティブな方から高齢者まで、車いす以外の椅子やシートでも使用されている。

フォームやゲルのクッションでは不十分という方に最適。傾きやずれ落ちの防止もできる快適なクッション。

JayBox ポジショニングパーツの活用

ポジショニングパーツ


ポジショニングパーツとはユーザーの必要性に応じてクッションをカスタマイズして、さらなる姿勢保持を提供するための「姿勢保持用パーツ」です。ポジショニングパーツを使用することでモールド型のようにユーザーのニーズと形状に合わせたクッションを簡単にデザインすることができます。安定性と快適性の提供により長時間の使用が可能になり、使用後の変化に応じてパーツの位置や大きさ等を変更したり取り外すことで長期間使用していただくことができます。

ポジショニングパーツの活用

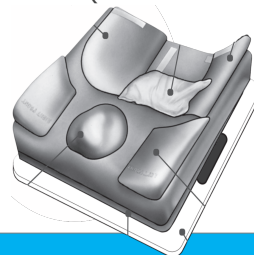
クッションの形状だけでは姿勢保持が不十分な場合にポジショニングパーツを活用することができます。足が外側に倒れる場合は外転防止パーツ、内側に倒れる場合は内転防止パーツ、腰の位置を整える場合はヒップガイド、骨盤の傾きを矯正する場合はビルドアップ(底上げ)パーツを使用します。ビルドアップには褥瘡を考慮した矯正のためにフルイドサプリメント(流動体増量パッド)も用意されています。

ポジショニングパーツの種類

ポジショニングパーツは用途によって様々なものがあります。




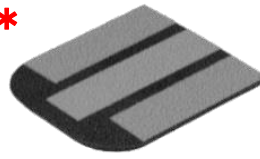


※  はJayBoxに入っているパーツです。

※ 『*』が付いているパーツは、厚生労働省完成用部品認可製品です。



JayBox
クッション評価用キット



| 外転防止パーツ | | | | 内転防止パーツ |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1"外転防止 ウェッジ *  B119J | 2"外転防止ウェッジ *  B113J | 2"子供用外転防止ウェッジ *  B163 | 3"外転防止ウェッジ *  B1113 | 2"内転防止ウェッジ(幅広) *  B118W |
| 内転防止パーツ | | | ビルドアップパーツ | |
| 2"内転防止ビルドアップ *  B118 | 3"内転防止ビルドアップ *  B1118 | 2"子供用内転防止ビルドアップ *  B168 | 2" ヒップガイド *  B1167 | 1.5" ベースウェッジ  B114 |
| ビルドアップパーツ | | | | |
| 1" 骨盤矯正用 ビルドアップ *  B116R/L | 1/2" 骨盤矯正用 ビルドアップ  B2166・B2168R/L | 1/2"ウエルビルドアップ (GSクッション用) *  K1105~K1115 | フルイドサプリメント *  F119 | ミニフルイドサプリメント *  F1119 |

ポジショニングパーツの使用例

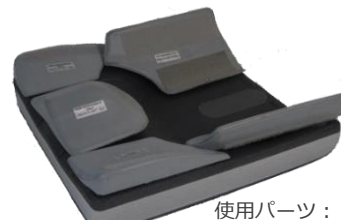
ポジショニングパーツは様々な形でご使用いただけます。必要に応じてパーツを切ったり削ったりすることも行われています。



使用パーツ：
2" 子供用内転防止(B168)
2" 外転防止(B113J)
フルイドサプリメント(F119)



使用パーツ：
2" 子供用内転防止(B168)
2" 子供用外転防止(B163)
1" 骨盤矯正用ビルドアップ(B116R)



使用パーツ：
1" 外転防止用(B119J)
2" 内転防止(幅広)(B118W)
2" ヒップガイド(B1167)